



「いただきます！」中野幼稚園たんぼ組のみなさん

広報

肱川

わきあがる
風でロマンの
町づくり

2004 (平成16年)

4月

給食初体験！

町内各幼稚園、小学校で4月8日、入園・入学式が行われました。中野幼稚園には元気な男の子3人が入園しました。9日には初めての給食を体験することになり、朝からみんなそわそわしていたことでしょう。3人は椅子に座って、おにいさん、おねえさんたちが、ごはんやおかずを持ってきてくれるのをじっと見ているばかり。ようやく全部そろったところで、「いただきます！」のごあいさつ。お口いっぱいほおばって、幸せいっぱい笑顔でした。いっぱいっばい食べて大きくなーれ!!

253号
今月号の主な内容

- 町報
 - ・肱川町人事異動……………4～5
 - ・町議会3月定例会……………6～9
 - ・山鳥坂ダムに関して……………10～11
- 公民館報
 - ・体育協会活動計画……………13
 - ・新しく赴任された先生のご紹介…14～15
- 社協だより
 - ・平成16年度事業計画等のお知らせ……18

町民の動き

人口 …3,091人(－16)
男 …1,476人(－6)
女 …1,615人(－10)
世帯数 …1,083世帯(－7)
(平成16年3月31日現在)



平成15年度 肱川町俳句大賞の
句碑除幕式

3/13



平成15年度の肱川町俳句大会で大賞を受賞した句碑の除幕式が3月13日、鹿野川園地の句碑の道で開催されました。

式には、作者である大洲市の森本節子さんご夫妻をはじめ25人が参加し、肱川町文化協会会長の河野美治氏の吟に合わせ除幕が行われました。この建立により、句碑の道の句碑は17基となります。

2/19

全国町村議会議長会表彰
神井恵一郎氏（大和）



地方自治に功勞

肱川町議会議員として30年の永きにわたり、議会制度の高揚、地域の振興及び、住民福祉向上に尽くされた功績により、平成16年2月19日開催の愛媛県町村議会議長会定期総会の席上、全国町村議会議長会長表彰を受けられました。

今後とも、地方自治の発展にご尽力頂きますようお願いいたします。

地域文化の振興に貢献

中塚 忠氏（久保）に表彰状

3/1



文楽人形を巧みに操る中塚さん



平成16年3月1日、「地域における伝統文化の振興に多大な貢献があった」と認められ、財団法人伝統文化活性化国民協会（平山郁夫会長）から大谷文楽保存会座長の中塚忠氏に表彰状と記念品が贈呈されました。中塚さんは、昭和34年大谷文楽保存会に入会以来46年間、永年にわたり文楽の技術を磨くとともに伝統文化である文楽の普及と後継者の育成に尽力され、顕著な業績をあげられました。

受賞おめでとございます。今後とも地域文化の振興と伝統文化の保存伝承にご活躍ください。

よう期待いたします。

趣味いきいき
文化芸能発表会

文化芸能発表会が、3月14日(日)風の博物館で開催されました。当日は、町議会議長、教育長の出席をいただき、会員による吟詠、舞踊、太鼓、カラオケなどを披露しました。出演グループ15団体、町内外から150人の参加があり、会員たちは日頃の練習の成果を思う存分に表現し、各団体や会員同士の交流をより一層



四季の歌メドレー他 (カトレア・涼風)



豊島餅つき唄 (肱川中央輪の会)



深めることができました。また、発表会終了後、お楽しみ抽選会が行われ、観客や出演者に大変喜んでいただきました。「趣味いきいき」、みなさんも何かはじめてみませんか。

●●●●● 日々の練習の成果を本番で… ●●●●●



艶歌 他 (一声会)



鳴門馬子唄ばやし (肱川民謡クラブ)



姉子もさ・夫婦坂etc… (三絃クラブ)



臉の母 (寿光会)



日本の歌メドレー (大洲吟詠会岩谷支部)



遊鼓の祭り (一声会)

(平成16年4月12日現在)

肱川町人事異動

町長 大野 和

肱川町議会

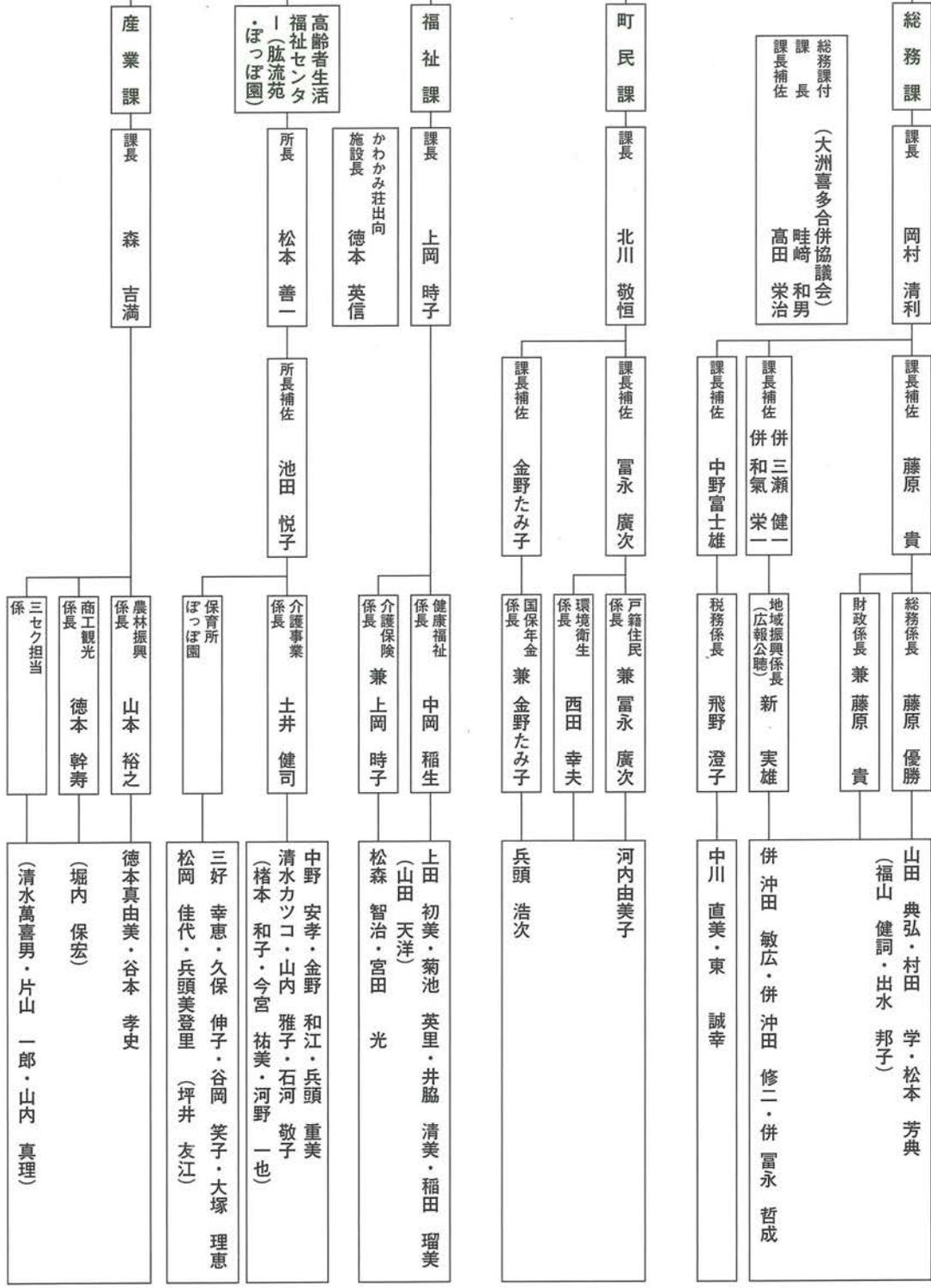
議会議事務局

事務局長

櫻田 和明

事務局長補佐 東 眞理

肱川町は、肱川町課設置条例の制定、公民館の設置に伴い、4月1日付で機構改革・人事異動を行い、新体制で出発しました。



町議会3月定例会

肱川町に助役を置かない条例制定

平成16年肱川町議会3月定例会が、3月10日から12日までの3日間の会期で開催されました。今議会では、肱川町課設置条例の制定について、平成16年度一般会計当初予算及び特別会計当初予算7件などの議案24件と、最終日に追加提案された「助役を置かない条例の制定について」の議案1件、及び議員提出の「河川整備計画策定に関する意見書について」が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

平成16年度当初予算においては、国の三位一体改革の影響を受け、極めて厳しい財政事情にありながらも、合併後の存在感ある肱川住民自治の基礎固めを進めるため、諸施策を実施することとし、上小薮集会所整備、消防団第5分団詰所整備、未登記町道の登記業務、次世代育成支援対策行動計画の策定、環境調和型の愛媛畜産確立事業の実施、水源地域再建計画策定事業の実施等を重点施策としていま



町長所信表明

平成16年度を迎えるにあたりまして、所信の一端を申し述べさせていただきます。

私が就任いたしました既に4カ月になるうとしております。ご承知のとおり私の任期は本年

末までであり、13カ月でありますから、この4カ月は非常に貴重な期間、時間でありました。合併のこともあり、一日も早く助役・収入役を選任し、人事体制を整えて諸案件に対処していくかねばと思いつけてまいりました。しかしながら、3月8日臨時議会においても選任同意が得られませんでした。私は人事は天の声と常々言っております。職員は理解してくれているものと思っております。したがって、人事の根回しなどは一切いたしましたことにはございません。まして、助役・収入役の要職者

を選任する案件を変更したり、差し替えたりするようなことは出来るはずありません。そのようなことをいとしますと将来に禍根を残すことになりません。また、いったん議決されたものもどうすることも出来ません。しかし、閉庁の日、合併の期日も接近してきております。平和円満な町の姿をつくってその日を迎えることは、執行、議会共同の責任であると思えます。この、行き詰まりの状況を転換できる方法は、議員各位の雅量にすぎない以外はないと考え、ひたすらお願いをしております。議論が解決できませんでした。議論を続けているとまはありませんで終止符を打つことといたします。最終日に助役・収入役を置かない条例を上げます。責任を明確にして、残ります期間を町長の全責任でやっております。このような結果になりましたことは、私の不徳のいたるところであります。誠に申し訳なく町民各位に深くお詫びを申し上げます。

合併の接近につけ、私の不安は次第に増幅してくるような感覚を覚えております。今回、提案をしております肱川町課設置条例の制定にしましても、朝令暮改になるといふようなことにならないように、変えないで済むものは変えず、改めるものは改めたいといった考えで検討をしております。しかし、時間がながい、合併後の肱川という考え方に変えていかなければいけないというふうな思いがしきりにしてまいりましたので、今回もそういう観点に立って一部考え方をに入れておりますが、これを合併までに今一度改正をいたしまして、合併後の肱川のことを中心にした課に、議会議員の皆さんのお考え、また、それぞれいろいろ合併に伴います役職についていただいている方がありますので、そういう方々のご意見も聞きながら、そういうものを整えて合併に臨みたいというふうに思っております。合併の個々の議案についても慎重に検討しなければいけないのではないかと思っております。最も重要なことは、合併後の肱川の地域振興体制、また、自治体制を明確なものにしていくことだと

思っておりますので、今後ともよろしくご指導をお願いする次第であります。

次に、ダムについて申し上げます。ダムにつきましては、私が退任いたしました13年3月以降、受益地区が事業より撤退し分水事業がなくなり、治水のみというような大きな変化が出てまいりました。その後の経過の中にも問題点が多々あることを感じ、野にあって私は心配しながら眺めておりました。このたび責任ある立場に立ちました以上、検証、研究をする必要があるものと考え、国・県に対し質問状を提出いたしました。質問の内容は先に委員会でお配りしておりますが、一番に山鳥坂ダムの法的な根拠について、基本計画の変更について、建設推進日程について、治水事業について、治水効果について、受け入れ時の覚書きについて、水害防止策への疑問、水没者支援策、県議会の山鳥坂ダムに対する認識について、付替道路、鹿野川ダム改造について、そういうふうなことにつきましましていろいろ疑念を申し上げまして検討していただいているところであります。このようなことにつきま

して回答いただいております。しかし、一気に解決というわけにはまいりません。再度の検討、国・県のすり合わせなどをしてもらっております。勉強、研究ということでありますからこの場ですべてご報告申し上げることも出来ませんので、月末ごろ、委員会を開催していただき説明、研究をしていただきたいと思っております。

次に、簡保センターの問題でございしますが、昭和47年に簡易保険保養センターが当町に設置され、今日まで多くの人に愛され利用されてきました。肱川町としましても観光のシンボル、他にない施設として誇りに思っております。しかしながら、時代の変化で縮小される方向になり、2月末で営業中止、3月末閉鎖ということになり、町の引受け要請を受けておりますことはご承知のとおりであります。しかし、譲渡価格についての提示金額があまりに高額でありますので決断に至っておりません。電話連絡などをして意見交換をしておりますが、3月末までには最後の提案があるのではないかと思っております。話がまとまったときのことを考えますと

合併時期のこともあり、時間がありませんので全く気の落ち着かぬ感じがしております。利用方法、対策を急がなければいけないわけでございますので、なるべく早く解決、合意に至るよう努力をしまっている所存であります。

その他、第三セクターの問題等も固めていく必要があります。いろいろ合併に向けて果さなければならぬことがたくさんあるわけでございます。

先ほど行政報告の中でも申し上げましたが、われわれが愛してやまぬ肱川町の風土の中で、町民の皆さんが楽しく過ごしていただけるようなことをやってまいらなければならぬわけですが、教育、福祉等々のことにつきましても、一層充実を図っていくよう努力してまいりる所存でございますけれども、一々の個々のことにつきましては、割愛させていただきます。以上で所信表明を終わります。

一般質問

神井恵一郎 議員



1 食の安全、安心の取り組みについて

21世紀は人間と自然（環境）、人間と人間（国際化）、人間と過去（歴史、伝統、文化）の3つの結び合いが重視され、特に農の時代と言われておりますが、米国での牛海綿状脳症（BSE）問題を発端に、アジア諸国での鳥インフルエンザ蔓延、外国野菜の残留農薬偽装表示、無登録農薬使用問題など、食の安全性に関わる問題が立て続けに発生し、消費者の食の安全、安心、国内自給率の確保等に今ほど関心が高まっている時はないと考えます。

「フード・マイルズ」つまり農産物が生産者から消費者に届

くまでの距離が離れるほど、食の危険性は増し、物の移動を少なくする事が、食の安全につながるわけですが、EUを始め先進国では自給率100%の国がほとんどですが、自給率40%と、外国からの輸入農産物に依存している我が国では安全性の確保は難しく、今、消費者はどこで誰がどのようにして作った食べ物なのか、つまり、顔の見える範囲で作られた食べ物を求めており、そういった消費者ニーズに応え各地で地産地消（身土不二）運動が展開されております。当町でも地域の自立と再生の道につながると思えますが、道の駅（清流の里）を中心に食の安全を求め、地産地消運動を進められてはどうか。町当局の考えを伺います。

〔町長〕

ご指摘のとおり食の安全、安心に対します問題は身近な問題として、今、大きな関心を持っているところであります。

地産地消は、昔から当たり前のこととして私たちの生活に続いてきていたわけでありますが、最近では地球の果てからも我が国に食料が集まってくるというよ

うな、誠に変な事になってきていることは皆さんご存じのとおりでありまして、私も非常に残念に思っているところでございます。道の駅を中心に地産地消運動をといつことではありますが、私もそのとおりと思っております。190余名の野菜出荷組合の皆さんも頑張っていたいただいておりません。私もその一員となっております。まして、今年も所得申告をいたしましたところでございます。地元産品で販売をしていくという道の駅のあり方で頑張っております。たいと思っておりますが、なかなか、言うは易く、実行は難しい面もあるわけでございます。それぞれの皆さんのご努力に敬意を表し、なお一層、町も一体となつて、充実に今後努めてまいりたいと思っておりますので、よろしくご指導をお願い申し上げます。

山口 吉浩 議員



1 えりも町との姉妹町と肱川会について

来年1月に合併を迎えるにあたり、えりも町との交流は今後どのように進めていかれるのか。また、肱川会についても継続されるお考えなのか、肱川会には補助金を出しており、扱いはどのようにされるおつもりなのか。お伺いをいたします。

〔町長〕

えりも町とは、平成9年9月26日に、えりも町の「風の館」と姉妹館提携を実施して以来、中学生による相互のホームステイや、ふれあいまつり、えりも町の「海と山の幸フェスティバル」等、活発な交流活動が続けてまいりました。現状はやや物的交流が中心になってきておりますが、今後、人的、物的交流を見直し、その充実を図っていきたく考えておりますし、先ほどご提言がありましたような新しい形での交流、こういってようなことも十分検討していくべきであろうと思っております。大洲喜多合併協議会では、この国内、国際交流についてのいろんな取扱いについて協議をいた

しておるところでございますが、現段階といたしましては、現状あるものはそのまま引き継いでいって、新市でまたいろいろな整合性を図っていくというふうな結論になっておりますので、従来同様な交流が図れるもの为期待いたしております。

次に、肱川会についてでございますが、これについても合併協議は、そのまま新市に引き継ぐ事になっております。そういうことでありますので、各地区肱川会の皆さんにも、お話をしているところであります。補助金につきましても継続の方向で詰めていきたいと思っております。肱川町が合併いたしましたも、ふるさと肱川は残ります。懐かしく、肱川会の皆さんにとって心の糧となるふるさとづくりにわれわれは励んでいかなければいけないと思っております。そういう意味で肱川会にも頑張つて活動をしていただきたいと思います。先般、東京肱川会に参加したこともご報告しましたが、私は、肱川会の特別会員に加入をするという事を申し入れて帰ってまいりました。これは行政依存だけでは、交流も難しいわけでありまして、や

はり民間交流が定型化していくという努力もしていかなければいけないのではないかと、その他の肱川会にも私は肱川町が合併しましても特別会員になって、できる限り訪問をして、交流を図って個人的にも努力をしていきたいと思います。願えたらと期待をいたす次第であります。

2 山鳥坂ダム建設に対する町長の疑念について

12月定例会で3月までには勉強をして疑念を払拭し、ダム建設に関係して方向を出すと言言されていましたが、どのような疑問があつて、勉強をされたのかを説明いただきたい。また、今後も慎重な姿勢をとられていくのか、推進をされていられるのか、明快な答弁をお聞かせください。

〔町長〕

山鳥坂ダム建設につきましては、所信表明の中で申し上げたとおりでありまして、質問内容についての説明もまた十分にしております。項目をお示し



ただけでありまして、誠に申し訳ないわけですが、先般ご答弁しておりましたような形の中へ、月末には入ってまいるようにいたしますので、先ほどの所信表明でお許しをいただきたいと思ひます。

町議会3月定例会で議決された主な議案

◎ 肱川町に助役を置かない条例の制定について

助役を置かず、課長会を協議・調整の行政内部最高機関として、円滑な行政執行を行うものとした。

◎ 肱川町課設置条例の制定について

合併関係市町村との組織機構調整を図ると共に、円滑な移行をするため改正を行った。

◎ 肱川町公民館設置条例の制定について

社会教育の振興と、住民の福祉向上を図るため、公民館を設置した。

◎ 平成15年度肱川町一般会計補正予算(第5号)

既定の予算から6000万円を減額、総額28億8500万円とした。

◎ 平成16年度肱川町一般会計当初予算

歳入歳出総額24億4200万円(前年度24億4000万円)

・第1分団消防ポンプ車購入(496万8千円)

・第5分団詰所整備(826万円)

・次世代育成支援対策行動計画策定支援業務(83万2千円)

・水源林整備事業(274万8千円)

・森林整備地域活動支援事業(1514万1千円)

・中山間地域総合整備事業(3千万円)

・基盤整備促進事業上影地区農道改良(5060万円)

・上小薮集会所整備(1001万円)

・歌麿館版画購入(150万円)

◎ 平成16年度肱川町国民健康保険特別会計当初予算

総額2億9000万円(前年度2億7880万円)

◎ 平成16年度肱川町老人保健特別会計当初予算

総額4億7200万円(前年度4億8360万円)

◎ 平成16年度肱川町住宅新築資金等貸付特別会計当初予算

総額2000万円(前年度2000万円)

◎ 平成16年度肱川町介護保険特別会計当初予算

総額2億4400万円(前年度2億3080万円)

◎ 平成16年度肱川町介護サービス事業特別会計当初予算

総額1600万円(前年度1580万円)

◎ 平成16年度肱川町簡易水道特別会計当初予算

総額9500万円(前年度8200万円)

◎ 平成16年度肱川町商業集積施設管理特別会計当初予算

総額310万円(前年度310万円)

山鳥坂ダムに対する 質問内容、回答の概要報告

町長 大野 和

山鳥坂ダムについての疑問点について、私が国、県に対し問題提起をしました経緯については議会の所信表明で申し上げておりますので、ご覧いただきたいと思います。

それらのことについて誠意ある対応を賜り、ダムの正常な評価、世論喚起などに努力いただき感謝しております。ただし、ダムの持つ宿命的課題については如何ともし難いことですし、技術、行政の仕組み上のことで解決されぬこともあります。質問内容、回答の概要についてお知らせいたします。

①ダムの法的根拠について

分水受益者の事業撤退後は、多目的ダムの根拠は崩れているとの批判をうけていることについて

事業は継続的に検討されてきており、河川整備基本計画といった方向づけになってきている。計画決定後は「治水ダム」として推進される。

「水資源特別措置法」の適用

については変わることはないの
で、「水源地域の再建」に努力
したい。

②基本計画について

①の事由により、「基本計画
は廃止」される。

③山鳥坂ダムの現時点での推進 日程

河川整備計画が決定したら直ちに取り組みが、環境影響評価法による調査に約3年かかる。その間に用地調査、付替道路設計などを行い、調査終了後、直ちに建設にとりかかりたい。水没地域住民の生活再建対策については「可能な限り配慮」し努力する。

④治水効果について

山鳥坂ダムの治水効果について「流域面積の5・3%で、大洲地点で10〜15cmの減水効果しかない」と言われているが、「肱川河口を広げるか」「ダム以外に洪水を減らす方法はない」ことを流域住民の理解を得るよう努力されたい。効果のない、感謝されないダムなら造る必要はない。
治水効果は大洲地点で400m³/Sで、「建設は不可欠」である。「理解を得る努力」をする。

⑤山鳥坂ダム受入時の覚書について

有効か否かについては、当時と状況が変わってきているので

整備計画策定後検討する。

撤退した受益地区には「原因者としての責任」があると思うので善処して欲しい。

「当事者側にそのような気持ちがなく残念である。」

先の覚書が無効であれば新たな覚書が必要と思うがどうか。

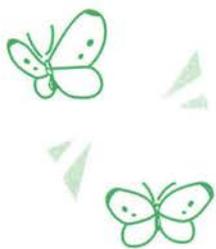
「締結の運びとする。新市計画へも盛り込まれたい。」

⑥水害防止策への疑問

「堤防と鹿野川ダム改造で洪水は防げる」とよく言われるが、堤防で洪水は防げないと思う。引堤（案）にしても掘削（案）にしても洪水をすべて河道へ押し込むことは理屈に合わない。内水も外水も水は常に水平であると思う。

⑦水没者支援対策について

「今後、県道整備や水没地区への対応などに力を注ぐ」



⑧ 県議会の山鳥坂ダムへの認識について

県議会の山鳥坂ダムへの考え方、姿勢を明確にお出しいただきたい。

「個別事項について議会が国へ要望や意見書を提出することは特例的対応ですが、建設、整備が不可欠との立場で具体的取り組みがなされている。」

⑨ 付替県道について

国、県の担当区間が分かれたことは残念である。

「堤高が17m低くなったためでやむを得ない。」

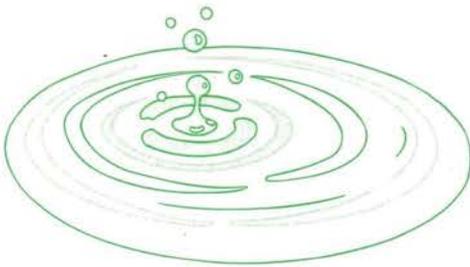
⑩ 鹿野川ダムの改造について

「反対派ではダムの全容積を洪水調節に使い、そのことによるダム環境悪化には肱川町へ補償する」などという一方的な言い分はもつてのほかと考える。

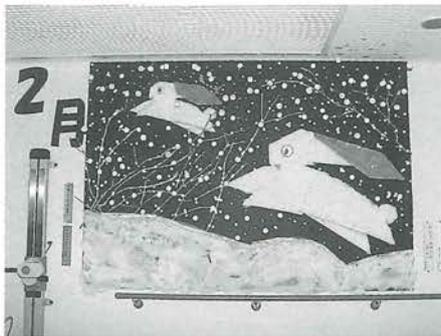
「ダム改造をしても従来通りの湖面利用が出来るよう配慮して、運用水位を考慮していく。」

以上が質疑回答の概要です。

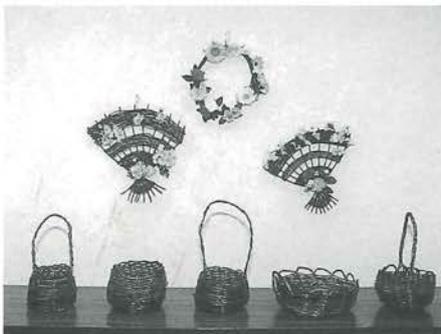
曲折を経ながらも、変化しながらも、ダム計画は継続され進んでいきます。町が長年エネルギーを費やしてきたことでもあり、水没地区へご迷惑をかけてきたことでもあり、その流れを否定することは出来ないと思います。また私が「ダム中止の原凶者になりたくない」と申したことは個人的心情ではありませんが、どのような事由にせよ、もし万一、ダムが中止となった時、それが肱川町の意思による原因でそうなることは、将来のため避けておくべきであると思いません。どうか苦しい心境をお察しただきたいと思えます。



肱流苑利用者が かずらで かごやリースを作りました



肱流苑ロビーの壁絵



肱流苑利用者が作成したかずらの作品展

肱川町は、平成5年6月からデイ・サービス事業を実施していますが、介護保険制度が始まった平成12年4月以降も介護保険が適用されない人を対象に「生きがいデイ・サービス」を実施しています。

この「生きがいデイ・サービス」を利用して居る人たち94人が1月から2月にかけて、リハビリ（機能訓練）を兼ねた作業として、かずらを使ってかごやリースを作りました。

参加者の中には、昔を思い出しながら講師よりも慣れた手つきで上手にかごを完成させた人もいたそうです。



今月のことば (陽春院参道)

行政相談所を開設します

日時：平成16年5月6日(木)
13時30分～16時30分

場所：肱川町公民館

行政相談委員

氏名：角田 和三

住所：肱川町大字宇和川

電話：34-2743

相談例：道路、交通安全、登記、郵便、消費生活、社会福祉、公害、行政サービス改善に関する意見・要望など

その他：相談は無料です。

秘密は固く守られます。

お気軽にお越しください。

農地転用申請はお早めに！！

農地に植林する場合や住宅を建設する場合には、農地の転用手続きが必要ですが、国道沿いを除くほとんどの肱川町の農地は、「肱川農業振興地域整備計画」で「農用地」に指定されています。農用地に指定された農地は、指定解除の手続きを行わなければ、転用申請ができません。

◎なぜ申請を急ぐのか？

今現在、市町村合併予定市町村にそれぞれ「農業振興地域整備計画」がありますが、合併が行われる平成17年1月1日には、それぞれあった「農業振興地域整備計画」が一つになるため、指定解除の手續中のものは市町村合併までに完了させなければなりません。

◎6月5日までに申請を

大変ご迷惑をおかけいたしますが、住宅建設や植林など農地転用をご予定の方は、6月5日までに農業委員会へご相談ください。この期限を過ぎますと平成16年中の転用は出来なくなりますので注意してください。市町村合併後は今までどおり申請を受け付けます。

◎連絡先◎

肱川町農業委員会 ☎ 34-2311

山林火災の

防止について

「未来へと ひきつぐ森です」

火の用心

日増しに暖かくなるにつれて、ハイキングや山菜採りなどによる入山者が多くなる季節になりました。

この時期は、空気が乾燥し風の強い日が多く、一年のうちで山林火災が最も多く発生しています。

そこで心配されるのが、タバコの投げ捨てや集め焼きなどの不始末によって起こる山林火災です。山林で火を取扱う場合は、次のことに注意しましょう。

○山林でのタバコの投げ捨てはやめましょう。

○集め焼きをする場合には一度にたくさん燃やさないようにしましょう。

○集め焼きやたき火をするときは、水バケツや消火器などを用意しておきましょう。

○集め焼きやたき火をするときは監視人を置き、目を離さないようにしましょう。

○気象状況に注意し、風の強い日や空気が乾燥しているときは、集め焼きなどはやめましょう。



川上支署



優勝 中野チーム



準優勝 パンジーチーム

肱川町体育協会長杯レクリエーションバレーボール大会が3月21日、トレニングセンターで開催されました。この大会は、男女混合のチーム編成による初めての試みでしたが、12チームも参加があり、真剣勝負の中にも笑い声が出るなどして楽しい大会になりました。試合の結果は、接戦の末、中野チームが優勝しました。

来年もぜひ開催してほしいとの意見もありましたので、皆さんの協力を得ながら、検討していきたいと思えます。皆さん大変お疲れ様でした。

3/21

体育協会長杯レクバレー大会

体協だより



☎ 34-2307
FAX 34-2878

平成16年度 体育協会活動計画

| 大会名 | 開催日 | 開催場所 | 備考 |
|------------------------|-----------|--------|---------------------------|
| 第32回ソフトボールリーグ戦 | 5月6日～ | 町民運動場 | 毎週 月～金 |
| 少年キックベースボール大会 | 5月16日(日) | 町民運動場 | 予備日なし 雨天の場合 室内競技に変更 |
| 親子グラウンドゴルフ大会 | | | |
| 第25回町内クローカー大会 | 6月6日(日) | 町民運動場 | 予備日12日(土) |
| 町内バレーボール大会 | 6月20日(日) | トレセン 他 | |
| 第12回町内グラウンドゴルフ大会 | 7月上旬 | 町民運動場 | |
| 第13回町内レクリエーションバレーボール大会 | 7月11日(日) | トレセン 他 | |
| 第2回肱川町自治大運動会 | 10月10日(日) | 肱川中学校 | 予備日11日(月) |
| 第22回健康マラソン大会 | 12月12日(日) | 肱川中学校 | 予備日なし |
| 第23回肱川駅伝大会 | | | |

*8月22日(日) スポレク2004喜多郡大会

*11月7日(日)・14日(日) スポレク2004愛媛県大会

町内の学校に赴任された先生

肱川町の印象や抱負などをご紹介します。

中野小学校



教頭 石止伊佐美
(前任校 吉田中学校)

初めて肱川町で勤務させていただくことになりました。地域に早く慣れ、「児童とともに成長できれば」と思います。よろしくお願いたします。



教諭 智葉千恵子
(前任校 予子林小学校)

肱川町は、美しい自然に恵まれ、人情豊かなすばらしい地域です。大好きな肱川町で、また勤務できることをとてもうれしく思います。よろしくお願いたします。

正山小学校



校長 福柅 妙子
(前任校 程内小学校)

校庭の石碑「美風伝承」は、正山の人々の熱い思いや夢を伝えます。地域の皆様のご支援を頂きながら教職員と力を合わせ、明るく楽しい学校づくりに努力します。



教諭 沖野 雅夫
(前任校 中野小学校)

町内での異動になりました。環境が変わり、初心にもどってがんばりたいと思います。よろしくお願いたします。



養護教諭 吉岡 由紀
(前任校 長田小学校)

黄色い菜の花とピンクの桜でいっぱいなの肱川町に勤務できることをうれしく思った着任時の気持ちを忘れずつとめたいと思います。よろしくお願いたします。



校長 吉見 隆史
(前任校 菅田小学校)

緑豊かな風のまち。吹く風の新しい心に心躍らせ「誠心誠意」を信念に、力を合わせ学校づくりに取り組んでいきます。よろしくお願いたします。

大谷小学校

家庭教育

子育てのヒント 家庭では

子育ては、父親と母親の両方に責任があります。それぞれがお互いを尊重し合い、人としての優しさ、暖かさ、厳しさを持って一致協力して子育てを担っていくよう努力することが必要です。

また、子育てに不安や悩みはつきものであり、特に最初の子どもの場合には子育てに戸惑うことはよくあることです。一人で悩まずに周囲の人や地域の様々な相談機関等に相談することが大切です。そこで、普段から開かれた家庭づくりに努め、困った時にはいつでも助け合えるような関係を築いていくことや、子育てを支援する人たちの言葉に耳を傾けることも大切です。

さらに、公民館等では、乳幼児期や小学校低・中学年、思春期など子どもの様々な発達段階についての理解や親の関わり方などについての講座が開かれていますので、こうした学習機会や地域の様々な子育てのネットワークを利用するのもよいでしょう。

また、平成11年度から乳幼児や小・中学生等のいる家庭に配布されている家庭教育手帳や家庭教育ノートに

は、家庭での教育やしつけについて様々なヒントとなる内容が盛り込まれていますので、夫婦で子育てについて語り合う際に活用されてはいかがでしょうか。

子どもを育てる上では、過保護や過干渉、あるいは無関心や放任といった極端な養育態度にならないよう心がけていきましょう。そして、子どもの発達段階に応じて例えば次のようなことに気をつけていきましょう。また生涯にわたり健康で充実した生活を送るためには、食生活も大変重要です。

○乳幼児期

- ・しっかりと抱きしめ、愛することが大切です。
- ・あいさつや早寝早起きなどの基本的な生活習慣を身に付けさせることが大切です。
- ・読み聞かせもしてあげるといいでしょう。

○小学校低・中学年

- ・自然とのふれ合いやお手伝いなどの生活体験が重要です。
- ・異年齢の子どもとの集団での遊びが重要です。

○思春期

- ・子どもの話をじっくり聞くこと、子どもによく話しかけることが重要です。
- ・自立を促し、手放しつつ見守ることが大切です。

予子林小学校



教頭 上杉 茂
(前任校 喜多小学校)

豊かな自然に恵まれた肱川町で勤務することを、うれしく思っています。早く地域にとけこみ頑張りますので、どうかよろしくお願ひします。



教諭 中田 博之
(前任校 五十崎小学校)

鹿野川湖畔の美しい景色を眺めながら通勤していきます。何かとご迷惑をおかけすると思いますが、一生懸命がんばります。よろしくお願ひします。



講師 日野こずえ

自然豊かな肱川町で勤務できることをとても嬉しく思っています。一つ一つの出会いを大切に、何事にも精一杯取り組みます。どうぞよろしくお願ひします。

肱川中学校



教頭 神崎 利夫
(前任校 立川小学校)

長浜から内子、そして肱川町で勤務させていただきましたことになりました。久しぶりの中学校です。生徒や保護者、地域に早くとけ込み、精一杯頑張ります。



教諭 白石 憲司
(前任校 大瀬中学校)

あいさつがきちんとできる生徒たちにさわやかさを感じました。「我以外皆師」を座右の銘として、がんばりたいと思います。よろしくお願ひします。



教諭 平田 慶子
(前任校 大洲北中学校)

美しい自然に囲まれた肱川町で、再び勤務できることを大変うれしく思います。一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

みんなの幸せを願って

結婚における 差別意識について

結婚の時、家柄や血筋、あるいは学歴や職業などを気にすることはないでしょうか。

相手の家柄や血筋ばかりを気にしてしまうと相手の本当の姿、つまり、相手の人間性や人格を見誤ることになり、そのことで人を排除してしまうことになり、残念ながらこの様な考え方を保持しておられる人が多くおられることも事実であります。

その一つのあらわれが「身元調査」という行為なのです。相手の家柄や血筋を結婚の条件とされている人は、このこだわりから「身元調査」を行います。その「身元調査」によつて差別へとつながることを理解しておかなくてはならないと思いま

す。憲法では「婚姻は両性の合意のみに基づいて成立し(省略)」となつていきます。しかし、現実には親や周囲の人たちが、同和地区の人たちに対する偏見や差別意識を保持しているために結婚差別が起こる例が、現在でも多くあります。

親が子どもの幸せを願うのは当然ですし、周りのみんなも幸せを願うことも十分理解できます。しかし、家柄や血筋がいかにか財産があるということだけが本当の幸せになるための条件といえるのでしょうか。私たちは、もつと二人の愛情の深さを確かめ、二人を温かく見守る優しい心を育てることが大切だと思いま

す。

す。

平成16年度
農作業の雇用賃金等の目安表

| 項目 | | 金額 | |
|-------|---------------|---------|---------|
| 田植 | 田植機 山田 | 9,000円 | |
| | (10a当り) 沖田 | 7,000円 | |
| 稲 | 春田起こし 山田 | 10,000円 | |
| | 沖田区別なし 沖田 | 9,000円 | |
| | トラクター (10a当り) | | |
| 作 | しろかき (10a当り) | 12,000円 | |
| | 稲刈り (10a当り) | バインダー | 9,000円 |
| | | コンバイン | 16,000円 |
| | 脱穀 (もみ1俵あたり) | 580円 | |
| | もみすり (米1俵あたり) | 850円 | |
| 一般農作業 | 男 | 7,500円 | |
| | 女 | 5,500円 | |

この金額はあくまでも基準ですから、人の能力差・地理的条件などを検討の上、双方で適正な賃金を決定してください。

ご協力ありがとうございました。

平成15年度「ひじかわの森林を育む基金」と「緑の募金」にお寄せいただいた募金は、次のとおりでした。ご協力ありがとうございました。

「ひじかわの^{もり}森林を育む基金」総額 318,100円、
「緑の募金」総額 299,700円

●平成15年度「ひじかわの森林を育む基金」、「緑の募金」事業実施状況

皆様からお寄せいただいた募金は、町内の緑化の推進や森林整備など私たちの地域の緑の森を育てる活動に使わせていただきました。

- ・「ひじかわの森林を育む基金」森林整備事業
大谷地区轟の滝周辺において落葉広葉樹（山モミジ 120本）の植栽をおこないました。
- ・「緑の募金」交付事業
名荷谷地区天体観測所まんてんの部屋周辺林地において広葉樹の植栽をおこないました。
(ヤマツツジ、モジミ、ケヤキ、サクラ、ハナミズキ、サザンカ、ドウダンツツジ 植栽本数 184本)

「ひじかわの森林を育む基金」
と
「緑の募金」に
ご協力をお願いします。

【運動期間4月1日～5月31日】

4月1日から5月31日まで「ひじかわの森林を育む基金」と「緑の募金」運動が展開されます。

皆様からお寄せいただいた貴重な募金は、森林を守り育てるため、緑化の推進や森林の整備など、緑の森を育てる活動に使われています。この募金の趣旨をご理解いただき、今年度も「ひじかわの森林を育む基金」と「緑の募金」にご協力いただきますようお願いいたします。

「ひじかわの森林を育む基金」目標額 289,500円、
「緑の募金」目標額 263,000円

 ファインダー

自分ではまだまだ若いと思っていたのですが、初老の域に入ったなど認識を得ています。今、子供たちは卒業・入学の時期です。別れ、出会い、いろいろな事があるようです。しかし、未来に大きな希望をもつてはつらつとしているように思います。私も頑張らなければと思うのですが…。

ところで今、世の中では凶悪な犯罪が横行しています。児童虐待、ただ自分の欲望のための殺人、何か少し狂っているような気がしています。

私の若かりし頃には、殺人をすれば死刑という感覚がありました。今は何故無いのでしょうか。

私は、ある高校の役員をしています。「肱川の子供は部活でも勉強でも一生懸命頑張っている素直でいい生徒たちです。」との事。何か嬉しい。

肱川の未来を背負ってくれる子供たちに変な風が起らないよう地域、家族で見守っていかなくてはと思っています。

しいたけ豊作

森林組合だより

今年は、地球温暖化の時代に珍しく大雪が2回も降って、椎茸の発生に好条件となり、特に古ホダ木からの発生が多く、肱川町においては豊作の年となりそうです。3月19日、名荷谷集団ホダ場では、6戸の椎茸生産者が、花が咲いたように発生した椎茸の収穫に大忙しでした。

今年は、発生が遅れ2回目の市売が3月29日開催されました。寒子、春子の上物が多く厚物、薄物共に非常に強く、平均単価 4,678円の驚異的な相場となりました。



三生さんご家族（中居谷）



土居さん夫妻（汗生）

※乾椎茸の生産量の動向

単位：t ☎34-2121

| | 昭和59年度 | 平成5年度 | 平成12年度 | 平成15年度 | 平成20年度計画（目標） |
|-----|--------|-------|--------|--------|--------------|
| 全国 | 12,000 | 9,300 | 5,200 | 3,500 | 8,000 |
| 愛媛県 | 1,257 | 436 | 270 | 200 | 800 |
| 肱川町 | 72 | 22 | 16 | 11 | 40 |

※しいたけ産業の将来は明るい 10年後には平成15年度生産量の4倍の増産が必要

乾椎茸の国内の消費量は、13,000tあります。消費量の73%（9,500t）は、中国からの輸入なのです。中国の国内生産量は、100,000tで菌床栽培がほとんどです。その内、約1割の良品を日本に輸出している事になります。

中国は現在、高度経済成長の真只中です。中国の人々は美食家で椎茸が大好物と聞きます。しかも、人口は日本の10倍以上あり、近い将来椎茸を輸出するどころか、日本から味の良い日本産原木椎茸を輸入しなければならなくなると予想されます。



平成15年度、緑の雇用担い手育成対策事業が終了しました。

平成15年度から森林・林業の担い手の確保と育成を目指し「緑の雇用担い手育成対策事業」が始まっています。全国で2400人、愛媛県で、42人が、1年間の研修を終了して、4月から本格的に伐出現場で活躍しています。

肱川町では、和気昭夫班3人が卒業しました。

山下光幸さん（51歳） 肱川町山鳥坂
白石智基さん（24歳） 大洲市徳森
山首博行さん（24歳） 大洲市蔵川
（肱川町の山で活躍していますから
よろしく願います。）



肱川町社会福祉協議会
☎ 34-2312

平成16年度

事業計画及び
当初予算の承認について

3月29日(月)に理事会・評議員会を開催し、平成15年度補正予算、平成16年度事業計画及び当初予算の議案2件と大洲喜多社会福祉協議会合併関係の報告事項8件を提出し、全議案と報告事項についてご承認をいただきました。

平成16年度の予算については、13事業で約4千万円の予算額となりました。

合併関係については、大洲喜多社会福祉協議会合併協議会第5回会議において確認された次の項目について、報告しました。

平成16年度 社協基本方針

社会福祉を巡る動きは、介護保険の保険料、報酬の改訂や支援費制度が導入され地域を取り巻く環境が大きく変わる中で、少子高齢化についても一層の進展が見込まれ、社会福祉の重要性はますます高まってきています。

大洲喜多社会福祉協議会合併協議も大詰めとなり、7月には合併調印と大変重要な節目の年となり、4市町村社協並びに町との連携を図りながら合併に向けて「肱川地区社会福祉協議会」の設立準備を行うとともに、地域住民に直結した地域福祉サービスの充実を目指して重点項目に掲げる事業の強化・推進を図ることを基本方針とする。

- ・ 新市社会福祉協議会の事務所の位置について
- ・ 財産及び債務の取扱について
- ・ 事務機構(会長等)について
- ・ 事務機構(事務局機構)について
- ・ 役員の選出区分について
- ・ 各種事務事業の取扱について
- ・ 市町村の受託事業・補助事業の取扱について
- ・ 市町村の施設等の運営管理について

ご芳志

当協議会に、次の方からご寄付をいただきました。福祉関係事業に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

協 生 安川 哲生 様
藤野原 藤田 重量 様
上敷水 和氣 智仁 様

平成16年度 当初予算の概要

重点活動目標

- (1) 居宅介護等事業の充実
- (2) 地域福祉活動の充実、強化
- (3) 低所得世帯の自立更生の援助
- (4) 青少年児童福祉活動の強化推進
- (5) ボランティア活動の促進
- (6) 心配ごと相談事業の推進
- (7) 共同募金、歳末たすけあい募金運動への協力強化
- (8) 福祉関係団体との連帯強化
- (9) 広報活動

| 経理区分 | 管理区分 | 経常収支 | |
|----------|-------------|------------|------------|
| | | 収入 | 支出 |
| 法人運営事業 | 法人運営事業 | 5,024,000 | 4,135,000 |
| | 助成事業 | 434,000 | 434,000 |
| | 広報啓発研究活動 | 106,000 | 106,000 |
| | 給食サービス事業 | 100,000 | 100,000 |
| 委託・助成事業 | 心配ごと相談事業 | 198,000 | 148,000 |
| | 生活福祉資金貸付事業 | 60,000 | 60,000 |
| 共同募金配分事業 | 地域一般基本配分事業 | 998,000 | 998,000 |
| | 老人の広場事業 | 354,000 | 354,000 |
| 居宅介護支援事業 | 居宅介護支援事業 | 14,001,000 | 11,939,000 |
| | 介護保険認定調査事業 | 400,000 | 400,000 |
| 訪問介護支援事業 | 訪問介護事業 | 10,200,000 | 10,200,000 |
| | 身体障害者居宅介護事業 | 400,000 | 400,000 |
| まごころ銀行事業 | まごころ銀行事業 | 10,458,000 | 10,458,000 |
| 合 | 計 | 42,733,000 | 39,732,000 |

5月のカレンダー

保健衛生 保健センター ☎34-2340

5月の当直医

| 種別 | 日(曜) | 行 事 | 場 所 | 時 間 |
|-----------------------|-----------|---------|-------------|-------------|
| 保母 健子 | 12(水) | 乳幼児健康診査 | 保健センター | 13:00~13:30 |
| | 13(木) | ポリオ予防接種 | 保健センター | 13:30~14:00 |
| 老 成 人 保 健 | 20(木) | 健康相談 | 羽座谷集会所 | 9:30~10:20 |
| | 20(木) | 健康相談 | 中居谷集会所 | 10:40~11:30 |
| | 21(金) | 健康相談 | 正山自治センター | 9:30~10:20 |
| | 21(金) | 健康相談 | 山槌集会所 | 10:40~11:30 |
| | 24(月) | 健康相談 | 岩谷自治センター | 9:30~11:00 |
| | 25(火) | 健康相談 | 影地集会所 | 9:30~10:20 |
| | 25(火) | 健康相談 | 大谷自治センター | 10:40~11:30 |
| | 26(水) | 健康相談 | 白石集会所 | 9:30~10:20 |
| | 26(水) | 健康相談 | 森集会所 | 10:40~11:30 |
| | 28(金) | 健康相談 | 郷集会所 | 9:30~10:20 |
| | 28(金) | 健康相談 | 予子林自治センター | 10:40~11:30 |
| 31(月) | 健康づくり料理教室 | 中津集会所 | 10:00~13:00 | |
| 31(月) | 健康相談 | 中津集会所 | 13:00~13:30 | |

| | 日(曜) | 病 院 名 | 電話番号 |
|--------|--------|-------------|---------|
| 一 般 | 2(日) | 沢井耳鼻科医院 | 24-2510 |
| | 3(月) | 東大洲城戸眼科医院 | 24-1010 |
| | 4(火) | 大久保内科医院 | 26-1131 |
| | 5(水) | 浦岡医院 | 24-2024 |
| | 9(日) | 田渡クリニック | 25-3217 |
| | | きどおか医院 | 52-3003 |
| | 16(日) | 末光眼科医院 | 24-1500 |
| | 23(日) | 平田医院 | 24-1200 |
| | 30(日) | いんなみ眼科・神経内科 | 24-0700 |
| | 救 急 | 月・火 | 市立大洲病院 |
| 水 | | 加戸病院 | 24-5101 |
| 木 | | 大洲記念病院 | 25-2022 |
| 金~日 | | 大洲中央病院 | 24-4551 |

*一般の当直医は変更になる場合がありますので
あらかじめ、連絡してからお出かけください。

燃やせないごみ

【収集日】5月15日(土)

*前日までに指定の場所へ

【収集地区】

小畑井・萩野尾・汗生
肱栄・小藪・大和
中野・鹿野川・大谷地区

行事予定表

- 6(木) 第32回ソフトボールリーグ戦開幕式
- 9(日) 道路愛護デー
- 16(日) 少年キックベースボール大会
- 16(日) 親子グラウンドゴルフ大会
- 19(水) 自治会長会
- 19(水) 定例農業委員会
- 28(金) 町税等出張受入れ

社会保険一日出張相談所

大洲商会議所
5月11日(火)・25日(火)
内子町商会
5月12日(水)・26日(水)

古紙収集日

5月19日(水)

*当日の朝7時までに
指定の場所へ

犬とねこの引取り

5月10日(月)・17日(月)
24日(月)・31日(月)

*当日の朝10時までに
役場に連れてきてください。

ペットボトル・白色トレイ

*当日の朝7時までに
指定の場所へ
右岸地区 5月8日(土)
左岸地区 5月10日(月)

行政相談

【日 時】5月6日(木)
午後1時30分~4時30分
【場 所】肱川町公民館 青年室
【相談員】角田 和三

心配ごと相談

【日 時】5月6日(木)
午後1時30分~4時30分
【場 所】肱川町公民館 青年室
【相談員】玉井 清・山本百千恵

慶 弔

■ おすこやかに ■

- 2/23 山内 隼斗ちゃん(上鹿野川)
- 3/6 金野 翼ちゃん(柳)
- 3/12 和田 大航ちゃん(町)
- 3/16 沖田 航祐ちゃん(協生)

■ やすらかに ■

- 久保 傳一さん(86歳・広 常)
- 森 ミナ子さん(76歳・下 敷水)
- 和氣 一郎さん(82歳・上 敷水)
- 藤田 吉時さん(86歳・藤野原)
- 梶原マツコさん(85歳・かわかみ荘)

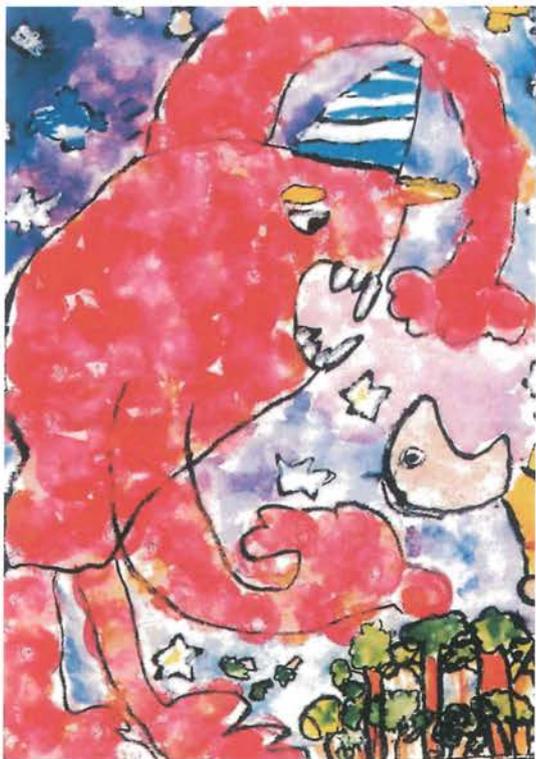
もろすく3歳

おおの あんじ
大野 安慈ちゃん
(中野)
平成13年6月21日生

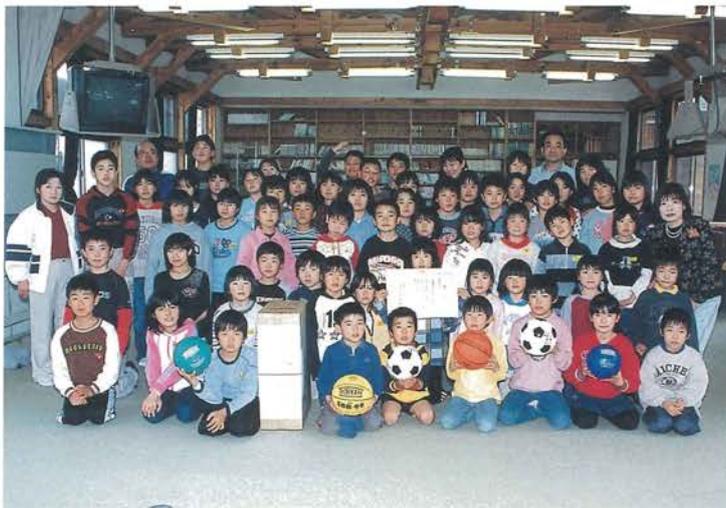


はじめまして！
僕は、電車がとっても大好きだあー!!
最近は、歌をうたう事も上手になってお母さんと毎日うたってるんだ。
こんな僕だけど、みんな仲良くしてね。

父 拓也さん・母 恵さん



県最優秀賞を受賞した「のみこみ とつつあ」の読書感想画



受賞を喜ぶ正山小学校の皆さん



本と賞状を手にする藤原希美ちゃん

読書感想画の愛媛県コンクールが行われ、審査の結果、「のみこみ とつつあ」という本の感想画を描いた正山小学校1年生の藤原希美ちゃん(道野尾)が「低学年自由図書部」で最優秀賞に選ばれました。希美ちゃんは「人の服の色を何色にしようかと迷いました。一番うまく描けたと思うのは、鬼の体のおなかが満腹みたいに大きく描けたところですよ。」と話してくれました。

また、正山小学校は1月30日、日本郵政公社主催の「第36回手紙作文コンクール」で学校賞を受賞し、副賞としてサッカーボールなど6個が贈られました。

★読書感想画愛媛県コンクール
藤原 希美ちゃんが最優秀賞を受賞
★手紙作文コンクール
正山小学校が学校賞を受賞